

数学I 学 習 指 導 案

日 時	平成27年6月15日(月) 第1時限				
講 座	1年6組	場 所	106教室	指導者	井上 智勝
単 元	第3章 図形と計量		教科書	新編 数学I (数研出版)	
指 導 目 標	1 三角比の意味やその基本的な性質を理解させる。 2 三角比を用いた計量の考えの有用性を認識させるとともに、事象の考察に活用できるようにさせる。		指 導 計 画	第1節 三角比 1 三角比・・・・・・・・・・3時間 (本時はその1時間目) 2 三角比の相互関係・・・・・・・・2時間 3 三角比の拡張・・・・・・・・3時間 補充問題・・・・・・・・・・1時間	
本時の主題	三角比				
前時の課題	課題プリント				
目 標	1 三角比の必要性を認識させ、興味を持って考察しようとする態度を養う。 2 三角比の意味や基本事項を理解させる。				
本 時 の 指 導 過 程	指 導 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点	資料・教具・評価規準等	
	1 木の高さや凧の高さを求める方法を発表する。	10	・課題プリントで考えた内容を積極的に発表させる。	【評価方法】 ・課題プリント、発表 【評価規準】 ・測定の具体例に興味を持ち、考察しようとする。 (関心・意欲・態度)	
	1 三角比の定義を学習する。	10	・相似な三角形の辺の長さの比は大きさに関係なく一定であることを理解させる。	【評価方法】 ・観察、診断テスト 【評価規準】 ・基本事項を理解している。 (知識・理解)	
	2 例1、例2を学習し、練習1を解く。	5	・直角三角形の位置に注意させる。		
	3 30°、45°、60°の三角比を学習し、練習2を解く。	5	・3つの直角三角形をかけるようにさせる。		
	4 三角比の表の見方を知り、練習3、練習4を解く。	5	・正確に読み取れるように注意させる。		
	5 診断テストを解く。	5			
整 理	1 本時の学習内容の確認をする。	10	・凧の高さを求める式を理解させ、次時の内容につなげる。		
次時の課題	三角比の応用の予習				
備 考	普通科 生徒数 40名(男子 21名、女子 19名)				